

ユニバーサルサービス政策委員会（第19回） ご説明資料

KDDI株式会社

2021年2月26日



1**KDDIにおける災害への取組****2****ユニバーサルサービスとしての公衆電話に対する当社の考え**

1

KDDIにおける災害への取組

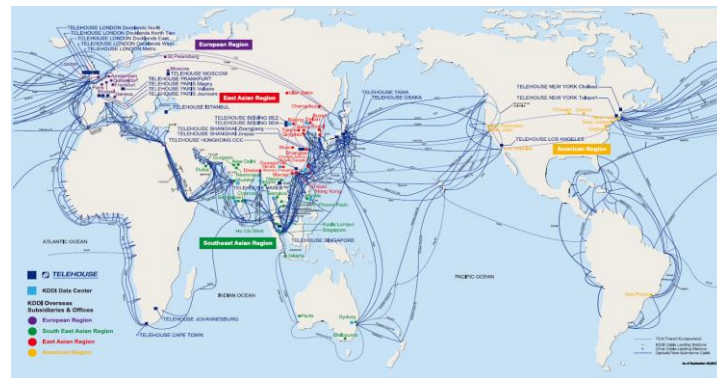
2

ユニバーサルサービスとしての公衆電話に対する当社の考え

国民生活と経済活動を維持する強靱なネットワークを構築し
国内ダイバーシティネットワークを確立



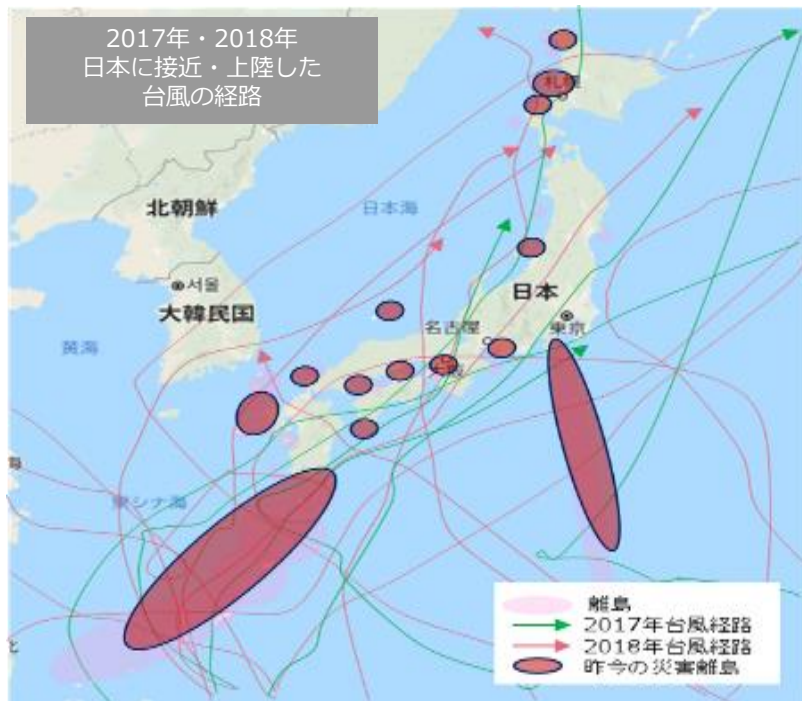
国内基幹伝送路の3ルート化



国内だけでなく、世界中に光海底ケーブルを持ち衛星通信も活用
複数のルートを確認することで安定した通信を維持

KDDIにおける災害への取組①ネットワーク強靱化 (2/2)

過去の台風通過ルート上で影響の大きい離島を中心に
災害長期化への耐性を強化



バッテリー増強



衛星回線設置

KDDIにおける災害への取組②被災地支援・復旧 (1/2)

車載・可搬・船舶型基地局や移動電源車・発電機等により、
災害発生時は**迅速に復旧**

車載型基地局



ポータブル発電機



移動電源車



可搬型基地局



KDDIオーシャンリンク (船舶型基地局)



KDDIにおける災害への取組②被災地支援・復旧 (2/2)

全国からの要員集結・自衛隊との連携等による**迅速な復旧活動**、
通信機器貸し出しや充電サービス設置等による**被災地支援**を実施

復旧資材・要員集結

全国拠点から要員集結



通信機器貸し出し

自治体・福祉施設等に貸し出し
スマホ・タブレット・衛星携帯電話等



自衛隊との連携

孤立地域へ復旧機材を荷卸し



無料Wi-Fi開放

通信キャリアに依存しない
「00000JAPAN」を無料開放



充電サービス設置

auショップ・自治体・避難所に設置



auひかり訪問機器交換

被災地のお客さま宅訪問



KDDIにおける災害への取組③事例 (1/2)

北海道胆振東部地震(2018年)に伴い、KDDIオーシャンリンクを出航し、
日本初となる「船舶型基地局」の運用を開始 (2018年9月8日19時43分から約61時間電波発射)

航路とスケジュール



電波発射エリア・支援



*北海道胆振地方中東部を震央として平成30年9月6日3時7分に胆振地方中東部で発生した地震。地震の規模はマグニチュード6.7。
厚真町で震度7、安平町、むかわ町で震度6強、札幌市東区、千歳市、日高町、平取町で震度6弱を観測。

令和2年7月豪雨*の際には、浸水被害や電柱倒壊等、
回線収容局舎からの基幹伝送路の一部断線等、大きな被害が発生
全国から要員、車載型基地局・可搬型基地局等を集結、復旧にあたった



最大停波基地局
103局

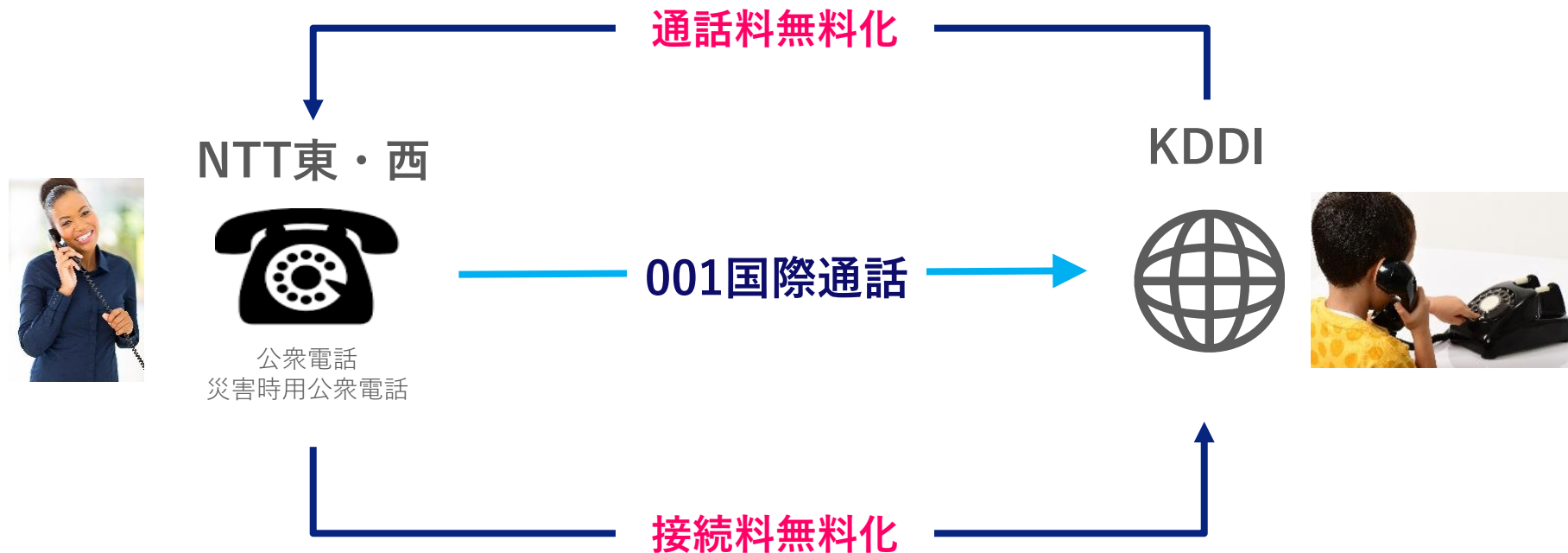
復旧要員 約**3,100**人

電源車・ポータブル発電機 **46**台

車載型・可搬型基地局 約**80**台

<参考> KDDIにおける災害への取組

災害発生時の公衆電話・災害時用公衆電話の通話料と接続料について
各事業者間で無料化措置^{*1}を実施



1 KDDIにおける災害への取組

2 ユニバーサルサービスとしての公衆電話に対する当社の考え

第一種公衆電話が果たす社会的な役割は
「社会生活上の安全の確保」及び「戸外における最低限の通信手段の確保」

特に

- ・ 災害時優先電話機能・局給電機能があること
- ・ 個別の加入契約が必要なく国民全てが利用可能なこと

から、引き続き重要な役割を果たしている



第一種公衆電話の設置基準の緩和等については、災害時用公衆電話の役割や
「戸外における最低限の通信手段の確保」の観点も踏まえながら
様々な視点を交え検討が必要

災害時用公衆電話は避難所等に設置され、災害時において
一定の「社会生活上の安全の確保」の役割を担うと考えられることから
災害時用公衆電話のユニバーサルサービスへの指定については
一定の合理性があると考え

※仮に災害時用公衆電話をユニバーサルサービスに指定する場合には、
現状、災害時用公衆電話に係る端末回線コスト等*1を公衆電話の接続料原価に算入し
各事業者で負担していることから、本件の扱いについて併せて整理が必要

災害時用公衆電話

災害時

- ・ 災害時優先電話機能・局給電機能
- ・ 避難所等に設置

平時

- ・ 災害時以外は利用できない

社会生活上の安全の確保

戸外における最低限の通信手段の確保 ?

au

UQ
mobile